

# 自治会 あつぎ 第59号

**目 標**

- ◎みんなの手で育てようあすの自治会を
- ◎地域づくりは市民の民主的・自発的な活動から
- ◎行政と協働で築く豊かな地域社会

発行 厚木市自治会連絡協議会  
編集 自治会連絡協議会広報部  
電話 046-225-2101



厚木市自治会連絡協議会 会長 佐藤 一夫  
一月から始まりました廃食用油の資源回収にも、ご協力をお願いします。

日ごろより、自治会活動に對しまして、皆様方には大変なご苦労をおかけしていることと感謝しています。さて、一昨年の十月十九日から全地区で始まりましたごみ減量化・資源化も自治会長さんを始め会員お一人お一人のご協力があつたからこそ順調に推移していることと思われまふ。今後におきましても皆様方と一緒に小さなことから少しずつの積み重ねが大事です。とはいってもまだまだ決められたものを出さない人が多いのではないか。『ごみ置き場』であつて、『ごみ捨て場』ではない、私は思っています。

市が目標に掲げる資源化率は35%ですが、現時点で25%程だと言われています。資源回収量は確実に増加してまいりました。これも皆様方のご協力があつたことだと感謝しております。

しかし、一方では分別方法の理解が人によってまだ間違ひがあるように思われます。例えば、びん・缶・ペットボトルが一つの袋の中に入れていたり、中身が残つた状態で出ていたりしているようですが袋を別々にして出すように、ご協力よろしく願ひします。

また、せん定枝を燃えるごみに出さず資源として出すよう心がけていただくとともに、本年の資源回収にも、ご協力をお願いします。

厚木市では平成二十年四月から安心安全なまちを目指し、セーフコミュニティ(SFC)の認証取得に取り組んでまいりました。この成果となる世界保健機関(WHO)SFC推進協働センターのSFC認証を昨年十一月十九日に取得することができました。国内三番目の認証取得都市となり、特例市としては日本初となります。これもひとえに自治会の皆様や関係機関の方々のご尽力の賜物であり、誠にありがとうございます。SCの取り組みは市民協働による安心安全なまちづくりの手法として世界的に広く普及しています。国際的な機関からのSCの認証は、世界に通用する都市になることを意味しています。

「事故やけがは偶然に起こるものではなく、予防することが出来る」というのがSCの基本理念です。この取り組みは、自治会を始め、関係団体や、警察、企業などさまざまな組織が一体となつて安心安全なまちの体



厚木市セーフコミュニティ認証式典の様子

制づくりを進めてきました。安心・安全なまちづくりを推進するためには、市民の皆様と行政とが相互の信頼関係のもとに、知識と力を出し合つて「市民協働」による取り組みが不可欠であります。認証取得はゴールではありません。安心・安全なコミュニティを目指すスタートですが、今後におきましても、「誰もが、安心して安全に、いつまでも健康に暮らせるまちづくり」を積極的に推進していくために、自治会の皆様方により一層のご協力をお願いいたします。

## 資源化率向上に更なるご協力を

厚木市自治会連絡協議会 会長 佐藤 信雄

## 「金田陸橋」におけるポイ捨て防止啓発活動を通して

依知南地区金田上部自治会 会長 井上 慎一

国道246号と129号が合流する厚木市金田の「金田陸橋」は交通量が多く、ペットボトルやビニール袋を投げ捨てる信号待ちの車が絶えないことから、地元依知南小の子どもたちが、朝夕登下校を痛めておりました。

この子どもたちの思いに、依知南小学校PTAの皆さんと金田上部自治会も協力し、ドライバーのモラル向上と環境美化意識の啓発を推進するため、地域総ぐるみで周辺のごみ拾い清掃を計画しました。併せて、依知南小でも子供たちに呼び掛け、地域をきれいにしたいという子どもたちの願いがこめられた二十四枚程のポイ捨て防止ポスターが集まりました。

平成二十二年十月三十一日(日)道路を管理する国土交通省横浜事務所厚木出張所の協力により、作業の安全性を確保するため片側交通規制を行い、地元自治会・依知南小PTA・子どもたち約五十名でまず、散乱したごみの清掃作業を行い、軽トラック三台分



地域ぐるみでごみ拾い清掃

も集まりました。きれいなところでも子どもたちのポイ捨て防止ポスターを掲示して作業を終えました。

当地区は防犯モデル地区にも指定され、昨年八月総決起大会も開催し、地域住民の環境美化意識の気運も一段と高まり、住民総ぐるみで今後この活動が続けていければと考えています。

まずまず地域の絆が強まり、この活動が抑止力になって少しでもポイ捨てのない地域社会になっていくことを願っています。

## 酒井寅薬師 御開帳法要

相川地区酒井宿自治会 会長 山勝 半三

平成二十二年十月二十三日(土) 十二年に一度の寅年に



薬師如来立像を拝む

酒井地区上げての寅薬師御開帳法要が大々的に行われました。先祖代々受け継いできた行事で御開帳法要は小田原、北条氏の家老職を務めたこの地の領主山角氏が酒井のお薬師様を深く信仰し眼病が治つたことに感謝して始まつたのが由来といわれています。

山角氏はその後、徳川家康に招かれて千二百石の旗本となり、明治維新まで現在の酒井新宿の殿原に屋敷がありました。代々の菩提寺の御墓は地元の法雲寺にあります。

この時より数百年の伝統様式を忠実に守り、今に伝えられ近隣に例を見ない酒井地区が誇る大行事です。

この薬師像は現在秘仏になっており、開帳時のみ読経中に厨子の幕が引き上げられ、薬師如来立像を瞬間的に拝むことができます。早朝より一

## 繋がる自治会を 目指して

緑ヶ丘地区緑ヶ丘二丁目自治会 会長 菅 正清

私たちは、緑ヶ丘一丁目が市内で最も高齢化の進んだ地域と認識を深くし、近三年間住民との繋がりを深くする活動に取り組んでいます。

一、市の「災害時要援護者支援制度」を実効あるものにするため、自主防災隊の中に特任の「救護班」を設け民生委員と連携した訪問活動を通じて、要援護者と担当者との支援関係固め、見守り活動の充実を進めています。

二、自治会の施策に対して、活動を支援するボランティアグループが結成され、住民の繋がりの情勢・強化・イベント



ふれあいの輪が広がるバス旅行

ト展開が始まっています。今年度は子ども会のハロウィン行事に協力し、子どもたちと住民との楽しい交流を行いました。

三、日帰りの「ふれあいバス旅行」を催行し、紅葉狩りや観梅の旅を通じ住民相互のふれあいの輪が広がっています。

四、防災訓練や年末の美化清掃活動も大切な繋がりの機会と捉え、豚汁・炊き出しを行い多数の参加者の懇話を行いました。

五、評議員会報告とは別に、住民のニュースをお知らせする「かわら版」の発行をボランティアグループに委嘱し、始めています。

今後、高齢化地域が抱える課題への取り組みを改良と継続を重ね、取り組んでいこうとしています。





親睦を深めたバーベキュー

昨年度の自治会活動を振り返って、自治会員相互が忌憚なく話し、楽しい雰囲気であらう。交流し合う場は、それほど多くないように思います。こうした中、地域の交流を深めることができた行事として、毎年恒例となつていく。及川地区自治会のバーベキュー大会をご紹介します。昨年は、十一月二十一日(日)秋空の下、老若男女一五〇人余りが参加し開催致しました。参加者も家族連れが多く、うれしいことに年々増えております。当日、役員は午前十時に集合し、野菜を切ったり、グリルをセッティングしたりと大忙しでした。

### バーベキュー 大会で親睦

睦合西地区及川第二自治会  
会長 住野 稠生

少子高齢化の中、連帯感を強め元気で楽しく明るい生活の実現を願って活動してまいります。一、挨拶が絆の原点との想いで昨秋より「挨拶三言運動」を展開中。自治会役員の率先垂範から始めノボリ、回覧、ポスター掲示等により啓発。定着まで継続実施の予定です。

### 子どもと高齢者が 元気に活動は明るい

南毛利南地区コープ野村員会  
会長 高田 幸夫

さあー午前十一時、準備ができたところで乾杯です。成人の方には二百円会費で伍ピル付、勿論、飲めない人にはジュースやお茶を用意しました。八台のグリルに、それぞれ焼肉奉行が、カルビ・シロココロ・ウインナー・地元野菜、そして、こだわりの焼きそば料理に腕を振りました。参加者は口々に外で食べる食事は最高ねと、笑顔でした。B1グルメで腹を満たし、最後は、ちよつぱり喜んでもらえる賞品を用意し、ビンゴゲームで楽しい一日を過ごしました。



復活した餅つき大会

二、コープ野村は愛甲石田駅至近で安心・安全な住環境。一方、建設は三十年前、五階建てでエレベーターが無い。定着率良く三割以上が六十歳以上の老夫婦中心の世帯。今では外出の度、資源・ごみ出しに階段を上り下りする苦労。特に新聞等重い資源ごみ、大型粗大ごみの所定場所への搬出など健康な高齢者を含め負担のかかる日常作業環境。設備的な検討、行政の支援もさることながら自治会として独自の仕組みづくりを検討中。三、高齢者の比率が高い一方、絆の中心的存在が「ゆうゆう会」。六十歳以上の高齢者会員八十名を有し健康と親睦を兼ね地域社会を視野に入れた各種イベント、集い等活発な活動を続け、広く全世帯に門戸を開放。自治会と協同歩調。高齢者パワー万歳！

四、子どもたちが少なく高齢者とのふれあいの機会はほとんど無かつた為、七、八年前に途絶えた餅つき大会をふれあいの場として復活。子どもたちに夢と古き良き文化を伝え、共に楽しめた良い交流の場となりました。子どもの元気は日本の元気です！

### 小野神社の しめ縄作り

玉川地区若田・町屋・竹の内自治会  
会長 宮内 一男

小野地区には小野神社を始め、小野小町由来の小町神社、秋葉神社があり、その総鎮守が小野神社である。小野神社のしめ縄は、片方の先が細く跳ね上がっているのが特徴です。材料の藁は秋の刈入れ時期に厳選されたものを使用します。先ず藁をよりの、束ねながら直径十五cm、長さ五m程度の縄を作り、等間隔に麻紐で縛つたものを三本作り、これを完成させね交互に捻りながら完成させていきます。この作業は大変な力が必要になります。作り上げたしめ縄を神社の鴨居にかけて完成となります。この様子は、重みが増したように見えるのがまた格別です。古い



完成まじかのしめ縄作り

今後は、自治会としては神社の総代の方々と相談しながら、このしめ縄作りを地元の行事として捉えて技術の伝承を進めるとともに、年末のしめ飾りは各自で作ることができるようになりました。私たちが地域はもとより、他の地域にも高齢化等により伝承できずに埋もれている事柄が多くあるのではないかと感じます。今後、地域の活性化のためにも是非見つけたいと思っております。

### ホームページで コミュニケーション

厚木北地区松枝自治会  
会長 安藤 靖夫

松枝自治会は市立病院を中心に129号バイパスを挟み一部戸室地区を境に、現在七百九世帯の自治会員数です。厚木北地区の北西部に位置し、旧地元会員と最近では、マンション・アパートの新住民も増え、子どもや高齢者の増加などいろいろの課題が山積みして、ますます自治会活動の責務を痛感いたします。松枝自治会では、自治会組織とは別に、町内づくりという団体があり(会員三十名)元旦祭り、桜まつり、厚木神社祭典、日枝神社祭典等々の行事は、自治会と合同で実施し、まさに車の両輪で自治会活動を推進しております。特にユニークな活動として、年二回、六月と十一月に無料包丁研ぎを実施し、毎回二百本程、会員よりの持込みがあり非常に感謝され、自治会活動にもご理解、ご協力を戴いております。また、地域住民との更なるコミュニケーションを図る中で、一昨年の四月より松枝自治会ホームページを開設致しました。各月の自治会活動行事を中心に、写



会員に大人気の包丁研ぎ

真イラスト入りで掲示し、毎月更新するとともに、六カ月毎にダイジェスト版を発行し、回覧板で情報の共有化をしています。今後は自治会活動を通じて「自治会って何だろう」の疑問を解き、心の通ったコミュニケーションづくりを進め、助け合い、支えあえる、住んでよかった松枝自治会を目指し、活動して行きたいと思っております。

### 森の里地区 新年餅つき大会

森の里地区自治会連絡協議会  
会長 新郷 道人

森の里地区は、新年明けてからどこの自治会もどんど焼きと合わせて餅をつく。暮れにつきたかつたのだらうが、新しい地区で道具も技術もな

い、ということ七沢地区におんぶにだっこ、道具一式、指導つきでお願いできるには新年明けという事で私たちが餅つきは始まっているようだ。今では各自治会、臼、杵、せいろなど完備しているがやはり新年餅つき大会になる。開催日は、各自治会の都合で決めていたが、今年は一・二・四・五丁目は一月十八日に、三丁目は九日に行つた。各日とも快晴、無風穏やかな日和に恵まれ、餅つき・どんど焼きを楽しんだ。数年前には各自治会百キロ以上ついていたが、少子高齢化の波は如何ともしがたし、今年は一丁目 八十キロ、二丁目 七十キロ、三丁目 七十キロ、四丁目 百十キロ、五丁目 三十五キロとさまざまである。内容も きなこ、あんこ、からみ、納豆、のり



警察との合同パトロール

安心安全な地域づくりは住民と市、警察が一体にならないければ進めていけないことから、地区自治会では、毎月一回警察と自治会所有の青パト合同でパトロールを行います。内容は、コンビニや公園、神社境内等の巡回をします。また、睦合北地区安心安全なまち会議合同のパトロールも行います。今後、地区自治会ごとに青

睦合北地区では、安心安全な地域づくりを全員で取り組むことが大事という原点から地区一部の自治会で使用する青パトや地区駐在所と協力して、あつて特に防犯活動に力を入れています。

パト合同のパトロールを行い防犯灯の新設箇所や照度アップ、球切れの確認等していきたいと計画しています。地区内を巡回しますと色々な問題を発見できます。中でも重点をおきたいのが環境問題です。ごみ集積所の近くの不法投棄(家電製品や乗り捨て自転車)等をチェックしてまいります。みんなでつくる安心安全な地域づくりを合言葉に全員で頑張りましょう。今後は、昨年厚木市が取得したセーフコミュニティ推進をはかった活動を主力に考えています。

### 安心安全な 地域づくり

睦合北地区上三田自治会  
会長 鈴木 木 泉



子どもたちもお手伝い

など一般的なものから、ずんだ、イチゴ大福などの変わり種も子どもたちに評判である。特に三丁目は、新成人に紅白の祝い餅を配っている。今年、は、十四名の新成人に配った。いつときは五十名を超える新成人がいたが、各自治会とも事故もなく楽しい餅つき大会を送った。